

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 松田町教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 学校統合における魅力的な小中一貫教育校の創造
～先進的 I C T 環境・外国語教育を取り入れた新しい学校づくり～
4. 研究課題 :
- ・小中一貫教育の導入に向けての検討
 - ・テレワーク等の導入による校務の大胆な効率化
 - ・授業時間増加に伴う学期及び休業日等の在り方の検討
 - ・小中一貫教育における幼小中12年間の教育課程の編成
 - ・I C T 機器を活用した魅力ある授業の展開や効果的な学習方法
 - ・A L T と連携した外国語教育の推進及び英語検定への取組

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

現在、中学校2校の統合及び小学校1校の新校舎建設に伴って、「松田町立中学校統合準備委員会」「幼小中一貫教育推進会議」「松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会」を設置し、より良い教育環境の検討と教員の働き方改革を進めている。また、小中学校4校には、校内全域に無線LANの敷設とともに、I C T 支援員も4校で2人配置され、教育効果の向上を図っている。さらに、A L T の2名配置や英語検定を受検する児童・生徒への受検料補助により、外国語教育の充実を図っている。

以上の取組が、どのように活力ある学校教育の推進につながるのかを検証する。

(2) 調査研究の実施状況（平成30年度）

8月	I C T 活用指導力向上研修② 学校制度等のあり方に関する検討委員会
9月	統合準備委員会 通学方法検討部会 制服・体操服検討部会 学校制度等のあり方に関する検討委員会
10月	授業時数確保に関する日数等の検討
11月	英語教育推進会議②
12月	I C T 支援員による校内研修 統合準備委員会 通学方法検討部会 制服・体操服検討部会
1月	I C T 活用指導力向上研修③
2月	英語教育推進会議②
3月	中学校閉校式・新中学校開校式への準備 幼小中一貫におけるカリキュラムの編成準備

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

- ・「開かれた教育課程」を目指し、地域と連携した小中一貫教育の仕組みの構築に向けて、「学校制度等のあり方に関する検討委員会」で今後の方向性について検討した。
 - ・町事業の見直しを図り、教職員の働き方改革を進め、負担軽減に努めた。
 - ・小学校外国語教育の移行期間における先行実施に向けて、授業時数確保に関する登校日数等の検討を行い、次年度は夏季休業を3日短縮することとなった。
-
- ・平成30年度から、町事業として「幼小中一貫教育推進会議」を立ち上げる予定であったが、まず、将来の学校制度のあり方についての方向性を見いだすために「学校制度等のあり方に関する検討委員会」を設置して幼小中一貫教育をどのように推進していくかの検討を行った。
 - ・I C T機器を活用した授業づくりを進め、小中学校の教職員がお互いに交流し、具体的な活用法等について研鑽を積むことができた。
 - ・小学校卒業時点で英語検定5級、中学校卒業時点で英語検定3級の取得を目指し、受検する児童・生徒に受検料の補助を支給した。

(2) 成果物等

- 学校制度等のあり方に関する検討委員会報告書

(3) 今後の取組予定

- 教職員の働き方改革については、講師を招聘し、松田町の教職員にどのようなことができるか示唆をいただく。
- 英語教育については、引き続き英語検定の補助金を支給するとともに、中学校教員が小学校で授業を行い、小学校教員の授業力向上につなげる。
- 幼小中一貫教育推進会議を年2回実施し、学校制度等のあり方に関する検討委員会での報告も加味しながら、12年間を見通したカリキュラムの編成を行う。
- I C T活用指導力向上研修を年3回行い、小中の教員がそれぞれの実践を交流させることで、さらに研鑽を積めるようにする。